

目次

はじめに（研究の動機と目的）	i
研究の組織、経費及び発表	iv
目次	1
1.競技引退に伴って体験されるアスリートのアイデンティティ再体制化の検討	4
はじめに	4
1-1.先行研究の概観	6
1-1-1.競技引退を説明する理論の特徴とその限界	6
1-1-2.代表的な実証研究から得られた知見	9
1)研究対象の拡大	9
2)研究課題の変遷	12
1-2.諸外国におけるキャリア移行援助プログラム	14
1-3.競技引退に伴うアイデンティティ再体制化	16
1-4.まとめ	18
文献	19
要約(abstract)	24
2.競技者の引退に関する社会学的な展望と考察	26
はじめに	26
2-1.先行研究の概観	26
2-1-1.社会老年学理論と死学理論	27
1)社会老年学理論	27
2)死学理論	28
3)社会老年学理論と死学理論の展開と問題点	28
2-1-2.引退競技者に関する実証的研究の特徴と限界	29
1)競技者の離脱及び引退過程と適応問題に関する量的研究及びその限界	29
2)競技者の引退及び引退過程と適応問題に関する質的研究及びその限界	32
2-1-3.その他の引退に関する先行研究の特徴	33
1)社会適応	33
2)競技者の引退の意味付けと原因に対する先行研究	34
2-2.競技からの引退に関する研究の展望及びまとめ	34
文献	35
3.プロサッカー選手のキャリア移行に関する実態	38
はじめに	38
3-1.調査の手続き	38
3-2.結果および討議	38
1)プロサッカー選手のキャリア移行の実態	38

2) キャリア移行を経験した選手の事例	47
アルバイトで生計を立てている元 J リーガー	
3-3. キャリア援助プログラムの確率に対する提言	50
文献	52
4. 中年期危機を体験した元オリンピック選手の競技引退に伴うアイデンティティ再体制化	
はじめに	54
4-1. 方法	56
4-2. 事例提示	56
1) 事例提示の仕方	56
2) 事例 A 「現役復帰を果たした元オリンピック選手」	56
3) 事例 B 「再就職を余儀なくされた元オリンピック選手」	59
4-3. 討議	62
1) 競技引退に伴うアイデンティティ再体制化のプロセ	62
2) 社会化予期と時間的展望について	63
3) 競技引退体験が中年期危機に及ぼす影響	67
4-4. まとめ	68
文献	69
要約(abstract)	71
5. 韓国元一流競技者のライフヒストリーに関する研究	72
はじめに	72
5-1. 先行研究の検討	72
1) 韓国の一流競技者に関する先行研---検討	72
2) 競技引退に関する先行研究の考察	73
3) 本研究の意義	73
5-2. 研究の方法	73
1) 引退競技者への主なインタビュー内容	74
2) 企業や国家の関係者	74
3) 研究の対象	74
5-3. 元一流競技者のライフヒストリー	75
1) スポーツへの社会化	75
2) 体育特待生の学校生活	76
3) 社会的支援	78
4) 引退後の社会生活	79
5-4. まとめ	81
文献	83
6. 内界からみた競技引退そして新たな歩みを起こすまでの心理過程	86

あるスポーツ選手の心理サポートの事例から

はじめに	86
6-1.A さんとの出会いそして面接の始まり	86
6-2.A さんの「競技期」における心理サポート	87
6-3.引退期：引退の内的儀式	88
1)海外研修	88
2)本づくり	89
3)資格をとる	90
4)連盟からの要請を断る	91
5)脚の手術	91
6-4.拡散・停滞・焦り	92
1)外から競技の世界をながめて	92
2)現実の厳しさ	92
3)向こう岸を意識しだす	94
6-5.動き出そうと考え始める	95
1)動き出せる感触	95
2)所属企業での配置替え	96
3)自分の行ってきた競技への関心が芽生える：繋がり、連続性	97
6-6.指導者として競技の世界に再び戻っていく	98
1)これまでやってきた競技を生かしたい	98
2)再びユニフォームを着る	100
3)入り口そして展望の芽生え	101
6-7.考察：A さんとの心理サポートを振り返って	102
1)引退の内的儀式：喪の仕事	103
2)内界の旅：こころの広がり求めて	104
3)現在と過去・未来の繋がり	105
6-8.まとめに代えて：LMT からみた心理過程	107
おわりに（本研究のまとめと今後の課題）	110